

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月31日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

1 事業名	文化会館管理事業			コード	111101	
2 担当部課	部等	企画政策部	課等	ブランド推進室	作成者	霜鳥 哲也
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち			
		政策	文化・スポーツの振興	施策	文化・芸術の振興	
		予算科目	文化会館管理運営費	業務委託	全部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	あり	
		設置条例	岡谷市文化会館条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要（簡潔に）	芸術文化の拠点として、市民が安心して気軽に利用できるようにする。また、各種公演を開催することで、優れた芸術文化をより多くの市民に鑑賞してもらう。		
目的	対象者	市民	
	意図	文化・芸術の振興	

5 施設の管理運営状況			
指定管理者	（公財）おかや文化振興事業団	25年度指定管理料	148,642,000 円
施設における通常業務	①施設の保守管理 ②施設の利用許可 ③使用料の徴収 ④施設・付属設備の利用調整 ⑤自主事業の計画実施 ⑥カノラホールソサエティの運営 ⑦カノラ少年少女合唱団の運営 ⑧カノラタオーケストラの運営 *年間を通じて		
事業の実施内容	<p>（25年度に施設で行った運営事業・自主事業など）</p> <p>【育成事業】カノラ少年少女合唱団等による定期演奏会を実施し、次世代を担う人材育成に努めた。</p> <p>【独自企画事業】第7回緑と湖のまち音楽祭を始め、オーケストラ・ジャズ等の開催とそれに伴うワークショップまた、他施設との連携により幅広く鑑賞の場を提供できた。</p> <p>【主催公演事業】幅広い年齢層、市民ニーズをふまえた多岐にわたるジャンルの事業を実施。</p>		
前年度の課題への対応	なし		

6 施設の利用状況	*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	89.3%	82.0%	90.1%	
年間開設日数（日）	287	306	305	305
1日の開設時間（時間）	10	10	10	10
年間利用可能時間（時間）	2,870	3,060	3,050	3,050
年間利用実績（時間）	2,564	2,510	2,749	
② 年間利用者数（人）	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	1,586	1,536	1,807	1,642
有料利用件数	650	742	803	731
無料利用件数	0	0	0	0
減免措置件数	936	794	1,004	911
④ 1日あたり利用者数、件数	5.5	5.0	5.9	5.4
⑤ 施設利用状況の説明	市民ニーズを踏まえ、多岐にわたる催し物が実施できたための利用者増。			

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	175,150,478	212,746,333	210,937,187	189,491,000
経常経費	166,750,478	153,746,833	161,743,187	161,491,000
臨時的経費	8,400,000	58,999,500	49,194,000	28,000,000
* 臨時的経費の説明	外壁調査費・ワイヤレスレシーバー交換費・岡谷能補助金・冷温水器・ボイラー入替工事			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	10,400,000	11,600,000	5,600,000	5,600,000
正規職員の人数(人)	1.30	1.45	0.70	0.70
③ 合計コスト(①+②)	185,550,478	224,346,333	216,537,187	195,091,000
前年度比		120.9%	96.5%	90.1%
財源内訳				
一般財源	146,996,398	138,274,597	142,689,232	195,091,000
特定財源	38,554,080	86,071,736	73,847,955	0
* 特定財源の説明	文化会館使用料、財産使用料、基金繰入金、市債、国庫補助、雑入			
④ 施設使用料年間収入額	18,526,360	17,444,016	18,774,235	23,000,000
⑤ 年間減免措置額	20,904,410	14,202,260	18,393,795	
⑥ 受益者負担割合	22.5%	14.9%	17.6%	12.1%
⑦ 活動一単位あたりコスト	111,696	107,648	92,608	
前年度比		96.4%	86.0%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1	
1日あたり利用者数、件数 前年度比 118.0%		
⑤ 施設使用料収入が増加した。	1	
施設使用料年間収入額 前年度比 107.6%		

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	平成元年より開館しており、施設内の設備の老朽化が激しく、平成23年より3年間で舞台等の改修工事を行ったが、まだ、大ホール・小ホール共に音響・照明等の設備改修が残っている。	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	計画的な修繕・改修工事を行っていく。	
改善開始時期	H23年度以降	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	240,000,000	円	予定時期 平成26年6月～
内容	大ホール調光設備改修工事・外壁工事・蓄電池再生・カノラホール連絡通路天井改修工事		